

第2学年〇組 社会科学習指導案（略案）

令和〇年 〇月〇日（〇曜日）第〇時限

指導者 〇〇〇〇〇

1 単元 古代国家の展開

2 指導計画（5時間完了）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| (1) ヤマト王権と渡来人…1時間 | (2) 東アジアの統一国家…1時間 |
| (3) 律令国家をめざして…1時間 | (4) 奈良の都と律令制下の暮らし…1時間 |
| (5) 国際色豊かな文化…1時間（本時） | |

3 本時の指導

(1) 目標

- 飛鳥文化や天平文化の内容について関心をもたせ、飛鳥文化や天平文化は、仏教を中心とした国際的な文化であることを理解させる。

(2) 準備

図説『中学歴史資料集学び考える歴史』浜島書店、西アジアから東アジアの白地図、仏像の写真

(3) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 現在行われている仏教行事や儀式を発表し、日本と仏教の関わりについて興味をもつ。	○ お盆や葬式などの現在行われている仏教の行事や儀式を想起させ、日本と仏教の関わりについて興味をもたせる。
23分	2 日本で初めて文化であり、大陸からの影響が強い飛鳥文化について理解する。	
(5分)	(1) 仏教が日本に伝わるまでの流れをつかむ。	○ アジアの白地図を用意して、どのルートで日本に仏教が伝わったことを確認させる。
(18分)	(2) 仏教が伝わった当時の仏教にかかわる文化に関心をもつ。	○ 仏像に視点を変え、日本の仏像は大陸からの影響を受けていることに気付かせる。
17分	3 東大寺の大仏を中心にして、天平文化について理解する。	○ 飛鳥文化と天平文化の違いを意識させるために東大寺の写真を見せる。
(7分)	(1) 仏教の力により、日本を護り、社会の動揺を抑えようとしたことを理解する。	○ 国分尼寺・国分寺、大仏がなぜ作られたのか確認するために、図説の「聖武天皇と仏教」の部分を読ませる。
(10分)	(2) 天平文化は仏教文化であると同時に国際色豊かな文化であったことに気付く。	○ 正倉院の宝物を示し、どこの国から送られてきたものを資料から確認させる。
5分	4 飛鳥文化・天平文化はともに仏教文化であり、国際色豊かな文化であったことを確認する。	○ 飛鳥文化と天平文化の共通点を、ノートに簡潔にまとめさせる。

評価事項

飛鳥文化や天平文化の内容について関心を持ち、飛鳥文化や天平文化は仏教を中心とした国際的な文化であることを理解している。

【ノート・発言】（知識・技能）